

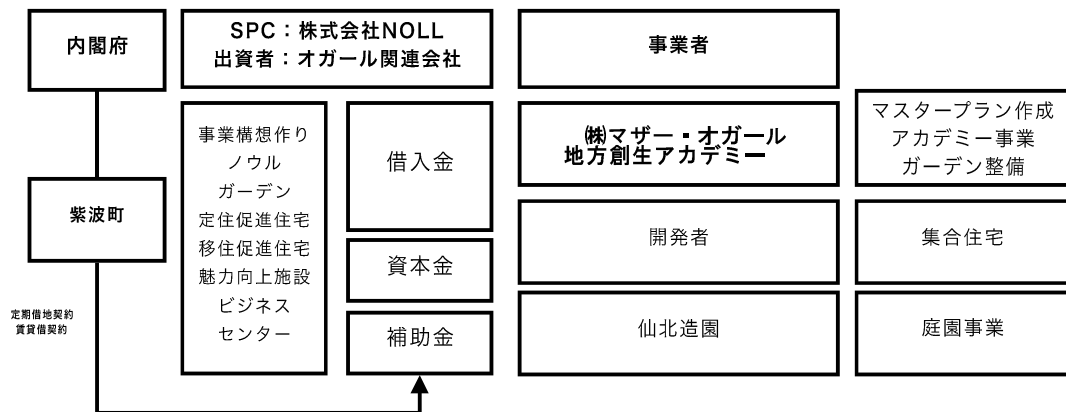
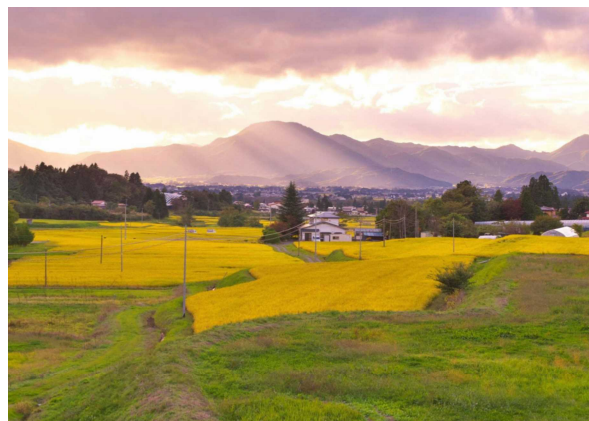


ノウルプロジェクト:岩手県紫波町

事業コンセプト：農業の「再編集」によって人材供給の拠点を目指す

- ・地域資源を活かした農村の価値向上と人材育成によるまちづくり事業
- ・天候が安定しない東北の特徴を活かし、滞在型観光への挑戦
- ・長岡を代表する農業を、地域の協働や共に学び育つ市民資産として育てる
- ・地域の将来を担う人材の育成と地域資源を活かした新事業の創出
- ・農業を、単なる生産ではなく、質の高い料理にし、それを食した人が健康な身体を手に入れるまでのことに再編集
- ・公民連携手法を活用して持続可能な循環型収益施設の構築
- ・自然環境の恩恵を最大限享受できる仕組みの構築

スケジュール	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
計画策定	現況測量 マスタープラン策定 サインロゴ作成	定住促進住宅設計業務 オーベルジュ設計業務	定住促進住宅設計業務 ビジネスセンター改修設計業務	ビジターセンター改修設計業務
校庭活用事業	ランドスケープ詳細設計	ノウルガーデン（第1期工事） 定住促進集合住宅（第1期工事） オーベルジュ整備工事	ノウルガーデン（第2期工事） 定住促進集合住宅（第2期工事）	
校舎活用事業			ビジネスセンター改修工事	ビジターセンター改修工事
予算計画（総事業費10.8億円）				
全体事業費	33,500,000円	583,440,000円	352,340,000円	110,440,000円
補助金交付対象事業費	26,000,000円	381,480,000円	269,670,000円	110,440,000円
民間（事業者）事業費	7,500,000円	201,960,000円	82,670,000円	0円
事業内容	現況測量業務 マスタープラン策定業務 サインロゴ作成業務 ノウルガーデン詳細設計業務	定住促進住宅設計業務 オーベルジュ設計業務 ノウルガーデン（第1期工事） 定住促進集合住宅（第1期工事） オーベルジュ整備工事	定住促進住宅設計業務 ビジネスセンター改修設計業務 ノウルガーデン（第2期工事） 定住促進集合住宅（第2期工事） ビジネスセンター改修工事	ビジターセンター改修設計工事 アカデミー事業開始



事業沿革

- 2021年10月 株式会社吉本・オガール地方創生アカデミー設立
- 2022年6月 内閣府地方創生推進事務局、紫波町と連携包括協定
- 2023年4月 内閣府地方創生推進事務局に民間事業として事業採択
- 2023年12月 株式会社マザー・オガール地方創生アカデミーに変更

株式会社マザー・オガール地方創生アカデミー

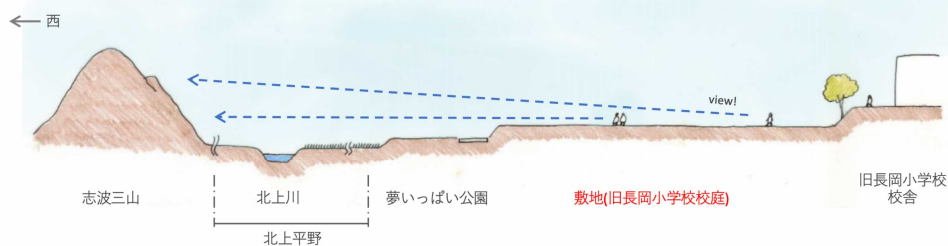
代表取締役 岡崎正信

資本金 40,000,000円

株主 (一社) mother ha,ha (株)オガール 岡崎建設株 紫波町



紫波の雄大な山々と散居村の風景が感じられる敷地



ランドスケープマスタープランナー

有限会社オンサイト計画設計事務所

代表作 星のや（軽井沢、竹富島、バリ島など）、オガール広場、他多数

建築デザイナー

（株）ワークヴィジョンズ （株）エネルギーまちづくり社



”「土地の風景」×「生業の風景」＝紫波町長岡ならではの魅力的な農の風景をつくる”



The “15-Minute City”

idea is based on research into how city dwellers’ use of time could be reorganized to improve both LIVING CONDITIONS and the ENVIRONMENT -- one in which daily urban necessities are within a 15-minute reach on foot or by bike.

「15分都市」のアイデアは、生活条件と環境の両方を改善するために、都市居住者の時間の使用をどのように再編成できるかについての研究したもの。毎日の都市生活に必要なコンテンツが徒歩または自転車ですぐに到達できる都市を構築すること。



グリーンサステイナブルシティ
地球と共存
ワンワールド・ワンヘルス
人間・野生動物・環境



低密度から高密度
秘匿性保持とコミュニティの両立
新しい産業が生まれる土台



創造性ある連携
多世代コミュニティ
多様性コミュニティ



関心＝参加
人と街に関心を持つ
寛容性のある地域

事業コンセプト：農業の「再編集」によって人材供給の拠点を目指す

- ◇校舎を改修し、ビジネスセンターとビジターセンターからなる（仮称）ノウルセンターを整備
ノウルプロジェクトエリアの案内所ともなるビジターセンターでは、
 - ・農産物等を調理などして交流する、また加工品の試作、製造なども行えるキッチンスタジオ（調理室）
 - ・農業者がスマート農業について情報収集し、体験し、情報交換できる体験交流室
 ビジネスセンターでは、
 - ・民間事業者が運営するサテライトオフィスや事務所、アカデミーの教室等
- ◇校庭の一部は、町の交流公園として位置づける（仮称）ノウルガーデンを整備
 - ・マスタープランに沿った広場、園路等の整備を行う。
 - ・体験農園機能も有した施設とし、ノウルセンターとの相乗効果を高める。



ノウルプロジェクトは公民連携により事業を行います。
 町は、民間事業者と連携して設計や施工を行い、公有施設部分について、その費用の負担を行います。
 民間事業については、施設整備費用に対する補助を行い、持続可能な事業展開を図ります。

負担金：ノウルガーデン整備、ノウルセンター整備
 補助金：定住促進住宅、魅力向上施設（オーベルジュ等）

スケジュール	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
計画策定	現況測量 マスタープラン策定 サインロゴ作成	定住促進住宅設計業務 オーベルジュ設計業務	定住促進住宅設計業務 ビジネスセンター改修設計業務	ビジターセンター改修設計業務
校庭活用事業	ランドスケープ詳細設計	ノウルガーデン（第1期工事） 定住促進集合住宅（第1期工事） オーベルジュ整備工事	ノウルガーデン（第2期工事） 定住促進集合住宅（第2期工事）	
校舎活用事業			ビジネスセンター改修工事	ビジターセンター改修工事